

- [応力疲労腐食分野における寿命・余寿命評価]  
[座長：住金・外山和男]  
13：10～13：40  
(1)腐食疲労の寿命・余寿命評価の考え方  
京大・駒井謙治郎
- 13：40～14：00  
(2)海水環境下における腐食疲労寿命・余寿命評価  
日鋼・阿部敏広
- 14：00～15：20 材料別・環境別腐食疲労寿命・余寿命評価  
(3)NaCl 水溶液環境下の炭素鋼・低合金鋼  
住金・菅田 登
- (4)NaCl 水溶液環境下の13Cr ステンレス鋼、工業ガス環境下における構造材料  
三菱重・江原隆一郎
- (5)NaCl 水溶液環境下のタービン動翼材  
川重・岡崎章三
- (6)河川環境下における公共構造物の寿命・余寿命評価  
金材研・松岡三郎
- (7)海洋構造物材料のフレッティング腐食疲労  
金材研・角田方衛
- 15：20～15：40 休憩  
[計測・診断技術][座長：日鋼・岩館忠雄]
- 15：40～16：00  
(1)腐食・腐食疲労の計測・診断 阪大・柴田俊夫
- 16：00～16：20  
(2)環境助長割れ診断と設備・機器の健全度評価  
京大・駒井謙治郎
- 16：20～16：50 腐食環境 総合討論  
16：50～17：00 [閉会挨拶]
6. テキスト：テキスト販売は「鉄と鋼」9月号にて別途ご案内いたしております。  
①耐熱鋼の高温クリープおよびクリープ疲労損傷材のレプリカ法による非破壊的損傷量/寿命評価  
②レプリカ法によるクリープおよびクリープ疲労損傷量評価マニュアル  
③腐食損傷を受ける鉄鋼材料の寿命・余寿命評価マニュアル
7. 参加費：1,000円(当日受付でお支払いください)
8. 懇談会：11月18日(月)17：00よりポールスター(新丸ビル地下1階)にて、開催いたしますので奮ってご参加下さい。  
会費：5,000円(消費税込み、当日受付でお支払いください)
9. 申込方法：参加申込みは、官製ハガキ以下を記載のうえ、11月11日までに下記問合せ先へお送り下さい。  
①氏名 ②勤務先 ③所属 ④電話番号 ⑤シンポジウム・懇談会の参加希望  
なお、参加受付のご通知は、否の場合のみご連絡いたしますのでご承知おき下さい。(参加者制限：120名まで)
10. 問合せ先：〒100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階  
(社)日本鉄鋼協会 技術室 増喜または大島  
TEL 03-3279-6021 FAX 03-3245-1355

☆☆☆☆☆☆☆☆

## ● 鉄鋼研究振興資金の募金結果と募金期間継続について ●

昨年来標記「鉄鋼研究振興資金」の募金をして参りました結果、9月末日現在総額5億4350万円に達しました。これは鉄鋼関係各社のご理解の賜と感謝申し上げます。

本会では、平成4年度から事業実施を予定し、鉄鋼研究振興資金選考委員会(委員長：北村卓夫・新日本製鉄副社長)を設け、事業目的である「大学における鉄鋼研究の活性化の支援、鉄鋼研究者の育成」のため、鉄鋼に係わる基礎・基盤的研究テーマの募集に入りました。平成4年4月から研究助成金の交付が可能なことから既に大学側研究者からは大きな反応と期待が寄せられています。

本会といたしましては、大学側研究者および鉄鋼関係各位の双方のご期待にお応えできますよう、全力を挙げて努力いたす所存であります。

つきましては、更に本資金の充実を図りたく募金期間を継続し新規または追加のお申込みを随時受け付けることといたしましたので、ご応募をお待ち申し上げます。